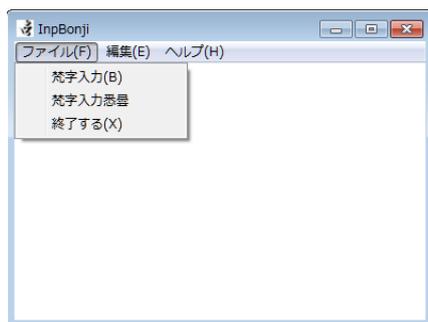


## 梵字入力 ver.1.0



Windows 用プログラム「梵字入力」は面倒な環境なしにデーヴァナーガリーや悉曇を入力できるように作成しました。

### •梵字入力



梵字入力ダイアログでは左に体文ボタンが上部に摩多ボタンが並びます。それぞれのボタンはラテン表記になります。

[Shave]ボタンは直前の体文の母音を除去し子音化します。通常次に来る体文と重字を構成します。右側には別摩多と空点・涅槃点・仰月点・3つの記号・バックスペース・改行・ゼロスペースボタンが並びます。中心部は梵字表示エリアで下部に入力した文字列を出力する形態を指定するラジオボタンがあります。

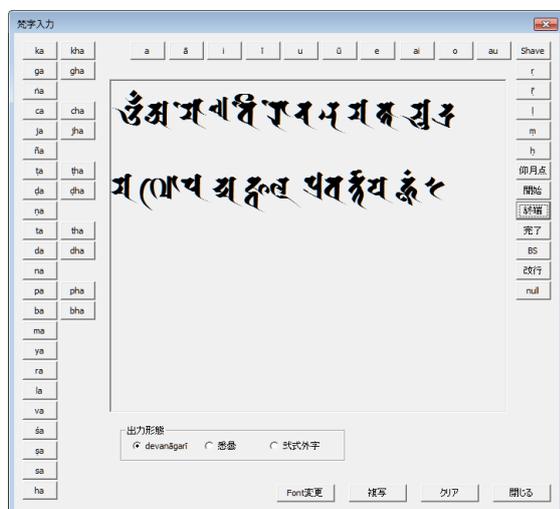




体文や重字の後ろで[Shave]ボタンを押すと子音化記号が付加された表示になります。

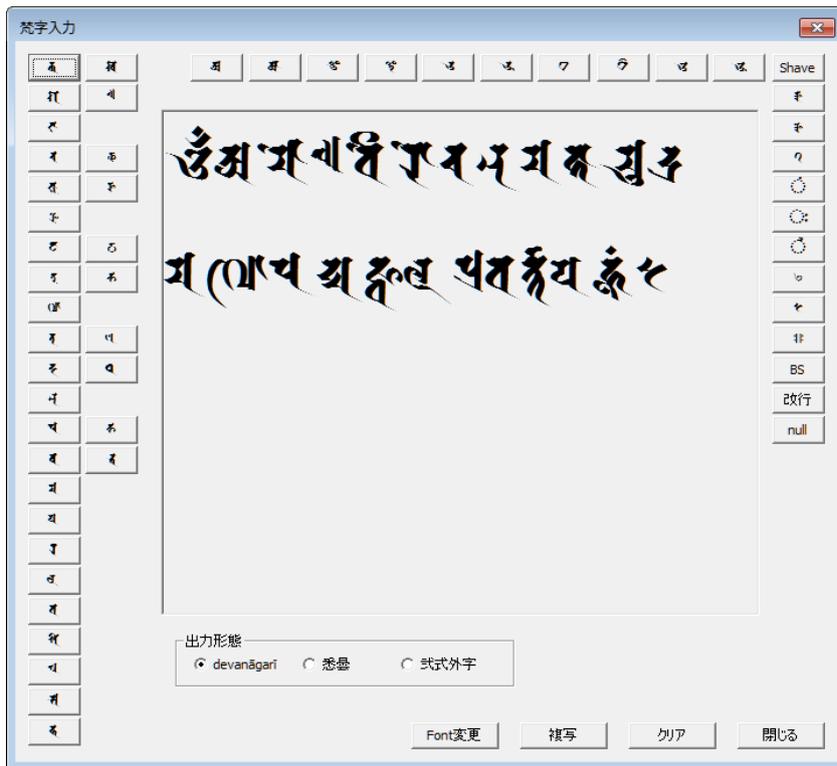


続けて体文ボタンを押せば重字が表示されます。ただし画面に表示しているフォントが入力された重字を持たない場合はそのまま次の体文が表示されます。強制的に重字にせず子音化文字を残したい場合は[null]ボタンを押してゼロスペース(表示サイズゼロのスペース文字)を挿入します。



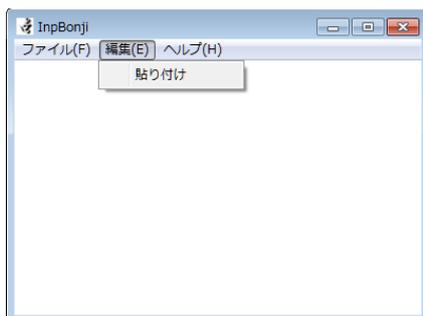


## •梵字入力悉曇



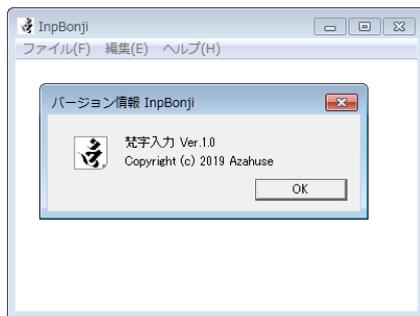
こちらのダイアログボックスはボタンをラテン文字ではなく梵字悉曇で表示します。使いやすい方をご利用ください。機能は「梵字入力」と全く同じです。なお「Ap 梵字悉曇式式」が使用可能な状態でない場合正しく表示できません。

## • 貼り付け



クリップボード経由で他のソフトウェアから文字列を複写できます。ただし読み込めるのは改行・ゼロスペース文字とデーヴァナーガリーコードでそれ以外は読み飛ばされます。なお、内部バッファは 2048 ストロークです。それ以上存在する場合、はみ出した部分は無視されます。ストロークとは内部的な文字数だと思ってください。

## ・バージョン情報



バージョン情報等が表示されます。

## ・動作環境

本ソフトウェアはWindows 10 Pro 64bit 1903上でVisual Studio 2017 Version 15.9.11のVisual C++ 2017を用いて作成しました。このため動作可能なOSはWindows 7以降になります。WindowsXP等では起動いたしません。x86用にコンパイルしておりますので32bitアプリになっていません。LinuxのWine環境では正常に表示されなかったり、保護違反が発生する事が確認されています。ご注意ください。

## ・インストールとアンインストール

InpBonji.exeだけでも動作しますが、同一ディレクトリ上にNishikiChar.txtが無い場合 式式外字出力ができません。このファイルが変換データになっています。このテキストファイルはUTF-16LE形式になっておりソートされており内容の変更等にご注意ください。また、動作設定の保存のため同一ディレクトリ上にInpBonji.iniファイルを作成します。

上記3つのファイル以外を使用することはありませんので、アンインストールする場合はこれらを消去するだけです。

## ・連絡先など

配布元 「梵字悉曇フォント配布所」 <http://siddham.shikisokuzekuu.net/>  
ブログ <https://azahuse-ajari.blog.so-net.ne.jp/>  
Mail mahamayuri666@gmail.com  
Azahuse / T.Nakagawa

## •テキストコンバート

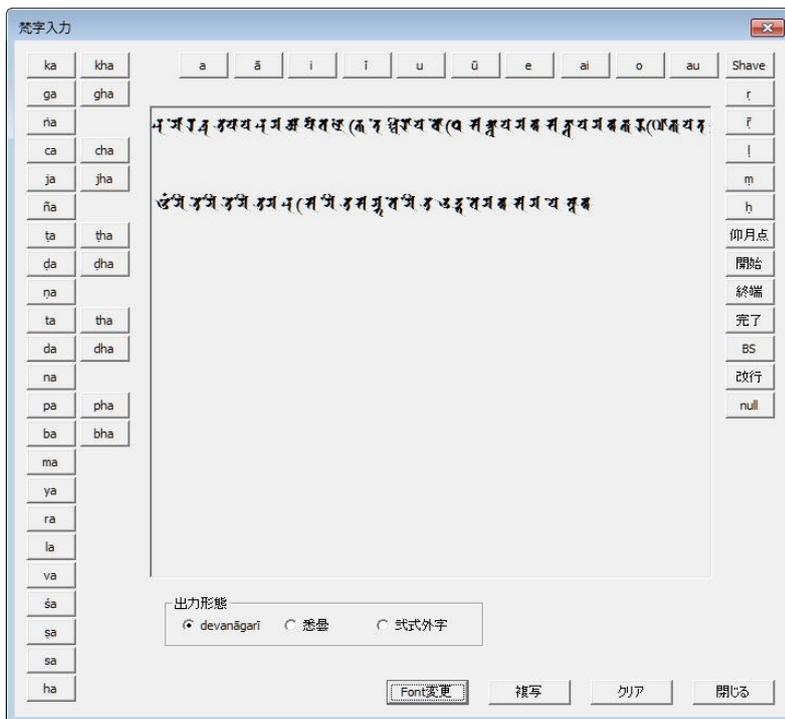
データ変換をする場合の例を記します。



ラテン表記のローマナイズドサンスクリットテキストをデーヴァナーガリーに変換します。



変換結果をクリップボードに複製します。



クリップボードから梵字入力プログラムに貼り付けます。

